

# 2013年度日本学連第2回幹事会議事録

開催日 2013年(平成25年)9月14日(土)  
会場 仙台市民会館第二会議室(宮城県仙台市)

## 【議題】

1. 自己紹介
2. JOAとの関係について
3. 会計について
4. 地図会計と『日本学生オリエンテーリング連盟におけるトレインと地図の管理に関する規則』の修正について
5. インカレ(協賛)トレイルについて
6. テレイン「矢板塩田」の今後について
7. インカレスプリントについて
8. 春インカレについての報告
9. 2012年度春インカレ報告書における将来への提言、イベントアドバイザー報告の今後の検討課題についてのフィードバック
10. 技術委員会報告
11. 理事会報告
12. 各部局活動報告
13. 各地区学連活動報告
14. 次回総会、幹事会について

## 【出席者】

氏名	役職	学校名
山川克則	副会長	東京大学卒
斎藤翔太	理事	一橋大学卒
海老成直	技術委員会委員長代理	中央大学卒
山本淳史	幹事長	東京大学
新谷国隆	副幹事長	名古屋大学
平野大輔	事業部長	名古屋大学
高橋秀明	広報部長	金沢大学
山田晋太郎	事務局長	東京工業大学
杉村俊輔	普及部長	東北大学
平野弘幸	渉外部長	東北大学
山田陽子	会計	早稲田大学
渡仲祥太	会計監査	名古屋大学
野本圭介	会計監査	筑波大学
山田康太	北東学連事業部長(幹事長代理として参加)	東北大学
高嶋健伍	北信越学連幹事長	金沢大学
佐藤大樹	関東学連幹事長	東京工業大学
川上雅人	東海学連幹事長	名古屋大学
宇井賢	関西学連幹事長	京都大学

(敬称略)

議事録作成: 高橋 秀明(広報部長・金沢大)

# 2013年度第2回日本学連幹事会議事内容

発言者 (敬称略)	発言内容など
	幹事会開始: 15時33分
	<p><b>1.自己紹介</b></p> <p>●今回の幹事会の出席者の自己紹介を行った。</p> <p>出席者については、議事録表紙を参照。</p>
	<p><b>2.JOAとの関係について</b></p> <p>●前回の幹事会までの議論の流れを踏まえ、個人情報の取り扱いについて議論した。その結果、来年度から、これらの個人情報加盟登録の際に集め、日本学連事務局で管理し、それをそのままJOAに渡して競技者登録してもらう方向で、次回総会において方向性の確認を取ることとなった。</p>
	<p>資料確認</p>
山本 山田(晋)	<p>2010年まではこれらの個人情報を持っていたのに、なぜ今は持っていないのか。 基本的には、(持っている)必要がないこと、ほぼ個人単位で事務局を運営していたために、手に余ることがあげられる。事務局の仕事は増えるが、(個人情報を)集めて管理することは可能である。</p>
齋藤 山本	<p>事務局員(現在3名)を雇っているのなら、それをもっと使うべき。お金も出せばよい。 前回の幹事会では、未成年の個人情報についての話が出た。陸上では、学連が日本陸連に未成年の個人情報を渡しているというが、それは大丈夫なのか。</p>
藤井	<p>個人情報を渡すというのは登録の際の注意書きに書いてあるが、そこに親の承諾についての記述はない。本人の承諾で行っている。</p>
山本 山川	<p>日本学連も同じようにすればよいのだろう。 個人情報の提供を拒否すると、スポーツ団体として成り立たない。</p>
藤井	<p>あと、これが通った際に、大幅な収入減となる都道府県協会に対するアフターケアはどうするのか。 宮城・岩手・愛知については、個別に話をしないといけない。JOAは赤字が続いているので、財政構造を変えたい。また、JOAは、学連の加盟のために、規約を変えないといけないと考えている。例えば、理事の選出である。現状では、各ブロックの代表と学識経験者という形があるが、ブロックの代表ではない学連からも理事が出せるようにしたい。他にも、委員会もそうである。JOAはJWOCと世界選手権を扱っているが、ユニバーは直接手掛けていない。ユニバーについても、学連から強化委員会に入ってもらってほしいし、すべてとは言わないが、うまく回るのならば、委員会に入ってもらいたい。規定はまだ変わっていないが、方向性はこのようなものである。</p>
齋藤 藤井	<p>ユニバー関連では、会計からの積み立て(年間10万円)がある。ゆくゆくはこういったことも考えていかなければならない。 JOAはスポーツ振興基金を使って選手強化を行っている。あと、6月にJOAはJOCの承認団体となり、スポーツ振興基金に対して、今までより大きな金額の補助金を申請することがしやすくなった。その中には、ユニバーの合宿や国内の合宿の費用も一緒に申請できるようになった。</p>
山本 藤井	<p>スポーツ振興基金のお金は、JWOCには使われているのか。 フットで二百数十万円、スキーなどを含めると合計で600万円。別枠でアンチドーピングの経費として、スポーツくじ補助金がドーピング検査に使われている。年1回(インカレロングまたはリレーのどちらか)ドーピング検査をしている。</p>
山川 藤井	<p>学連とJOAが合体すれば、本来、ユニバーの強化費には加盟金ではなく、そういったお金を使うべき。 また、JOAは公益社団法人であるので、例えば、選手強化のためにJOAへ免税寄付をすれば、税金が戻ってくる。これは5年間は続く。これを活用して、賛助会員が免税寄付の形で寄付すれば、いくらかお金が戻ってくる。こうすると寄付をする側・される側の両方にメリットがある。ただ、この仕組みはまだ浸透していない。</p>
山本	<p>免税寄付は、数十万レベルの大きな寄付をしてくださる賛助会員の方が出たときには検討すればよい。 日本学連としては、来年度から、これらの個人情報を加盟登録の際に集め、日本学連事務局で管理し、それをそのままJOAに渡して競技者登録してもらう方向でよいのか。 →承認(賛成11反対0)</p>
齋藤	<p>学生にはどのように説明するか、いつの総会で承認を取るかを決めておいた方がよい。個人情報の話なので、どのように周知するか考えるべきだ。個人的には、メーリスに流すぐらいではだめだと思う。</p>
山本 山川 高橋 齋藤 山本 齋藤	<p>採決を10月の総会でとり、その説明をその前にしたい。 いぶきを臨時で発行してはどうか。 いぶきはインカレロングの直前に出そうと考えているので、その中で書こうと思う。 そこに書くと埋もれるし、時間的に間に合わない。問題のある人が出てきたときのことを考えて、別に出すべき。 それならば、私がメーリスを回して、その後にいぶきの号外を出して、今度の総会で確認する方向で行きたい。 登録するときにJOAへ個人情報を提供したくない人はチェックするようにすればいいと思う。すなわち、「学連へは登録するが、JOAへ競技者登録しない」という選択肢を作るとよいと思う。</p>
山田(晋) 藤井	<p>この選択肢はJOAとしてはありなのか。 その議論はしていない。ただ、JOAとしてではなく個人的なコメントをすれば、JOAは競技者を把握したいので、競技としてのオリエンテーリングをしている限りは、競技者登録してほしい。名前・大学・都道府県などは必須だが、住所は教えないという選択肢はありかもしれない。</p>
山本 藤井	<p>プライバシーポリシーのようなものを出してもらった方がいい。 実際に登録するときはそういう形になると思う。学連登録時に、その情報は学連としての活動や、日本学連・各地区学連の責任のもと、競技に関する条項としてのみ使うこととし、JOAには、限られた情報しか登録しなくても、すべての情報を登録しても構わないと思う。 JOAとしては、例えば、JOCから競技者人数を聞かれたとき、JOAに登録していない学連登録者が抜けてしまうと、その分JOCへのアピール度が下がってしまうので、最低でも、名前は欲しい。</p>

齋藤	学連としてリスクを最小限にするため、プライバシーポリシーなどの書類を全加盟員に配って署名してもらうなど、しないとイケない。個人情報
山本	を流すことによってどういうリスクがあるのか、いろんな人の意見を聞いて検討した方がよいと思う。
山田(康)	JOAIにプライバシーポリシーを作ってもらい、各校渉外に周知をお願いして、チェックボックスを作ればよいと思う。次の登録まで
山本	らってよいか。
渡仲	現状ではどのくらいの人が都道府県協会に登録しているのか。また、東北大の場合は宮城県協会にそのまま個人情報を渡している
山田(晋)	のだが、その送り先が変わるとなると、もし問題があるとすると、学連で管理するとき個人情報流失したという問題などがあると思う。
藤井	学連の半分程度の人数が登録している。また、大半の人にとっては学連でもJOAでも変わらないのかもしれないが、もし、JOAが管理
山本	して何かあった時学連としてどうするのかという話がある。
山田(晋)	2010年以前は個人情報の取り扱いはどうなっていたのか。
藤井	個人情報は基本的に全員一律に集めていた。
山本	JOAのホームページにある、個人情報保護理念では、個人情報を取得するときは個人の同意のもとに取得することや、利用目的が載っ
川上	ている。これを基に、競技者登録されていることになると思う。(※注)
齋藤	※JOA個人情報保護理念についてはJOAホームページ参照
山川	<a href="http://www.orienteering.or.jp/archive/joa/%E5%80%8B%E4%BA%BA%E6%83%85%E5%A0%B1%E7%AE%A1%E7%90%86%E8%A6%8F%E7%A8%8B.pdf">http://www.orienteering.or.jp/archive/joa/%E5%80%8B%E4%BA%BA%E6%83%85%E5%A0%B1%E7%AE%A1%E7%90%86%E8%A6%8F%E7%A8%8B.pdf</a>
山田(晋)	このページへのリンクを張ったメールを送って、特に問題がなければ、秋の総会で確認する方向でいきたい。
山本	学連としても個人情報を持つわけだから、学連の個人情報ポリシーがあったらどうか。
山本	個人情報の紛失のないように引き継ぎをしてもらわないといけないし、個人情報保護理念を作る以上は、そういうことが絶対にあっては
山本	ならない。今まで以上に気を付けないといけない。学連の管理方法で問題があれば、今年のうち直してほしい。
山本	あと、学連のパソコンは事務局の水浸し騒動のために、私の倉庫にある。XPの古いバージョンであり、わけのわからない挙動をしていて
山本	使えるのかわからない状態である。パソコンを使うなら、(Microsoft社のサポートが切れる)4月までに、新しいOSに変えないといけない。
山本	ただ、データが引き継いでいるのであれば、情報管理については、きちんとやってくれば、あとは事務局長の判断でいいと思う。し
山本	かも、捨てるときは、何が入っているのか確認して捨てないといけない。
山本	データは持っているので、パソコンからデータを取る必要はない。
山本	あと、(事務局長に)個人情報保護理念の素案を作ってほしい。
山本	理念を作ったら、総会承認をしよう。秋の総会に間に合わなかったら、春にとりたい。

### 3.会計について

●山田(陽)より今年度の収入と支出の会計の中間報告を行った。また、山川より、地図売上の中間報告があった。

山田(陽)	資料配布・中間報告(中間報告については資料参照)
齋藤	(会計に記載されている)賛助金は何人分か。
山田(陽)	2人分である。
齋藤	賛助会員のお金は東大大会でたくさん払われたのでは。確認してほしい。
山田(陽)	東大がまだ持っているかも。確認する。
山川	会計報告はまだ出ていないが、前会計から引き継ぎ金はもらったのか。
山田(陽)	通帳と金庫は引き継いだら、名義をまだ変えていない。また、前会計から、銀行用の印鑑を引き継いでいない。また、通帳については、
齋藤	ゆうちょは引き継いだら、銀行はまだである。
山本	賛助会員と後援についての規約を去年つくったので、これを機にお金の流れをもう一度はつきりさせてほしい。
山田(陽)	あと電話代はいるのか。いらぬのなら、早急に解約すべき。次回の幹事会で話し合うべき。
山川	杉村・普及部長と賛助会員のお金の流れについて確認してほしい。
山田(陽)	わかった。
山田(陽)	あと、地図売上の中間報告についてだが、学生が扱える事務量ではないので、私が収納代行として、管理している。取次は事務局長が
山田(陽)	している。今年も8000枚は行く。今年は、千葉大会という大きな事業があるが、(取り扱う)金額が大きいので、開催直後にその決算を
山田(陽)	お願いしたい。
山本	決算報告については、前会計が、今度の総会に間に合わせるように昨年度の決算報告を作っている。
山本	例年秋の総会では、今年度の中間報告と前年度の決算報告をしなければならぬのだが、決算報告はまだ手元にない。また小柳・前
山本	会計は去年の総会で決算報告をしていないので、これら2年分を山田(陽)・会計に渡して、メールで流してほしい。そして、みんなで
山本	チェックしてほしい。

### 4.地図会計と『日本学生オリエンテーリング連盟におけるテレインと地図の管理に関する規則』の修正について

●齋藤より示された「日本学生オリエンテーリング連盟の地図の運用に関する規約」(案)について、内容の検討を行った。また、規約と内容が重複している既存の規則については、その廃止を含めて検討していくことになった。

齋藤	資料確認 【日本学生オリエンテーリング連盟の地図の運用に関する規約】 「日本学生オリエンテーリング連盟におけるテレインと地図の管理に関する規則」は今回作っている規約(日本学生オリエンテーリング連盟の地図の運用に関する規約)との重複や反故が多いので、そちらの修正が必要である。まずは、他の規則との整合性は抜きにし、細かい文言や法律的なチェックについては理事にみていただくこととして、学生の立場から、この規約単体でわからないところや改善すべきところがあれば教えてほしい。 あらかじめ(配ってある規約のなかで、修正しようと考えているところを)言っておくと、第6条4については、地図事業を提案した時点でその事業はその人のものであると私は考えているので、削除したい。ただ、例えば、ある大学が大会開催のために日本学連所有の地図の更新を希望したとき、地図作成業者を指定しない場合は、その業者を公募しなければならないので、第5条2ではその文言を追加したい。 第9条4には、「日本学連理事会は、・・・」とあるが、そこに幹事会を追加したい。また、「OCADデータに不備がないことについて承認し、それをもって検収が完了したものとする」とあるが、誰がこれをするのか。そもそも、データに不備があるというのはどういうことを言うのか、なんともいえない。第11条1・2で地図の精度については書かれている。さらに、データに不備がないというからには、データの指定が必要である。第9条2で、OCADバージョンなど、地図の納品形態について指定することには意味があると思う。
----	--

山川 齋藤	データの不備は普段のコースでもよくあり、自分で直している。そういった仕事は、学連レベル・日本レベルだけでなく、アジアレベルでもやったことがある。 それでは、ここの文言の修正をお願いしたい。 また、第10条では、業者に代金を支払ったときに領収証を発行してもらおうという手続きが必要だと思う。領収書の確認票に貼り付けるなどして保管しておきたい。確認票の様式はつくっておくつもりである。第4章は全体的に雑になっている。河合・会長にも指摘されたので、指定管理業者の定義・選定を含めて、これから考えていきたい。 契約書を結ぶときは、幹事会にかけたい。あと、日本学連会長の印鑑はあるのか。
山川 齋藤	学連の印鑑はある。実行委員会の印鑑は行方不明になったので、これから作り直すつもりである。 この規約が始動すると印鑑が必要となる。 これらの事務手続きの流れは煩雑ではあるが、結構なお金が動くことになるので、透明性という観点から、いつでも(お金の流れを)示せるようにしたい。 あと、この規約をつくった場合、春インカレの会計はすべてこれに沿うのか。
山川 齋藤	いや、インカレ会計である。 あと、既存の規則(「日本学生オリエンテーリング連盟におけるトレインと地図の管理に関する規則」とのすみわけが重要になってくる。(今回示した規約案は)前回の幹事会で示した案から結構変えた。第6条7では、(喫緊性があるときに承認ができる事業費の上限)金額を20万円に増やし、承認するのは、学生の三役(幹事長・副幹事長・会計)と私(地図会計担当理事)とした。また、金額が20万円より大きくなると総会や幹事会での承認が必要となるが、幹事会は少なくとも1回は説明に来ることを義務とする。
山川 齋藤	その例を言うと、早大OC大会(9月1日)や千葉大・東工大大会(11月開催)のようなパターンは、今まで苦労して総会の承認をとっていたが、(この規約ができれば)幹事会の承認ですむことになる。スピード性をつけて、より多くの大学に(早大や千葉大・東工大のように)日本学連の地図財産を使った大会開催に)手を挙げてほしい、という意図がある。 あくまで説明する場合は幹事会にしてある。総会で出してもみんなわからないと思う。担当となっている会計が総会でしっかり説明できるようにしなければならないし、そのために、幹事会で説明をもらうことにしている。
山本 齋藤 山川 齋藤 山川 齋藤 山川	地図のOCADデータは誰が持っているのか。 山川がもっている。 基本的にはパスワードつきの学連のクラウドで引き継ぐことにしている。 形としては学連が、実際は事務局がデータを管理して、更新するたび、随時指定管理業者にそれを提供することにする。 ただ、学生が見てはいけないデータがあるので、規約と現実をあわせないとはいけない。 それについては考えておきたい。
高嶋 山川	一時期、実際にヤフーのクラウドで管理していたが、規約改正のためにデータが消えてしまったので、今はない。これから対策をとらないといけない。 なぜ200万円、20万円という金額なのか。 実際の事業で必要だった金額から出している。過去2年間この話をしているが、現実の要請が先に来て、すべて幹事会にかけていた。
齋藤	あとは、毘沙門山(早大大会)と千葉大・東工大大会の事業を、総会を通すことなくできるようにしたいので、3段階にしている。なお、千葉大・東工大大会の事業費は160万円である。 総会は年2回しかないため、すべてを総会にかけていたら、実質運用ができなくなる。毘沙門山の事業費は120万円、千葉大・東工大大会は160万円だったので、そのくらいの事業規模なら幹事会の議論で事業が動かせるように、幅を持たして、200万円としている。
山川 齋藤	200万円までは幹事会決済で済ませるというのは、私と齋藤が相談した結果である。 遅くとも、次の総会で議決が取れるようにしたい。
齋藤	【「日本学生オリエンテーリング連盟におけるトレインと地図の管理に関する規則」について】 報告書251ページ参照
齋藤	この規則は、今議論した規約と内容が重複していることがわかった。その中には企画倒れな委員会もあり、存在価値がないと思うので、本当に必要な条項は新しい規約に反映させて、この規則自体は廃止の前提でいきたい。
新谷	古い規則の6条・8条・12条・13条と第4章は、今つくっている規約と内容が重複しているので、削除してよいと思う。特に、8章・9章の新たなトレインの開発やリメイクは、その内容がそのまま地図規約に関することであり、使われていない部分なので削除しても問題ない。第12条に関しては、4は様式7と内容が重複する。
齋藤	例えば、第1条2など、新しい規約に盛り込めるところは盛り込んだほうが良いと思う。あと、第12条の活動の管理の申請は今行われているのか。
山本 齋藤	各地区学連を通して行っている。 その部分はこの規則とは趣旨が違うので、別の規約にしまえればいいと思う。この申請関連部分だけ新しく規約をつくったほうが良いと思う。あと、カラーコピーの禁止についても新しい活動の管理で入れたほうが良いと思う。
新谷 齋藤	カラーコピーの禁止については、「O-mapのコピー自主規制についての申し合わせ」に記述がある。(報告書310ページ参照) これも新しい規約に入れてしまえばいいと思う。あと、違反についての記述があるが、活動のほうではそれが起こりうるが、こちらの規約ではおこりにくい。12条・13条とカラーコピーについてのところだけ残せばいいと思う。
山川 齋藤	地図に関することをすべて見直したほうが良いと思う。 もう一度整理すると、(この規則については)地図の定義や目的については、該当する部分を新しい規約へ引っ張ってこようと思う。あとは基本的に削除の方向とし、12条・13条と地図のカラーコピー関連については別に規約をつくらうと思う。 それで、新しい規約をつくるのと同時に、この規則の廃止の承認を取らないといけない。そのあたりに関しては、幹事長と連絡を取り合いたいながら進めたい。
<b>5.インカレ(協賛)トレイルについて</b> <b>●山川より、インカレ(協賛)トレイルは、例年インカレロングと同時開催されているが、今年度も春インカレと同時開催するという報告があった。</b>	
山川	(インカレ(協賛)トレイルは)毎年インカレロングで協賛イベントとして、トレイルの協会で開催しており、インカレと同じメダルを出している。去年は、脅迫状騒ぎで春インカレで開催された。今年のロングの環境では無理だとして、今年度も春にやりたいということだ。会場はまだ発表できないが、開催はする。

ただ、地図がない。例年はインカレ用の地図が無償でトレイルO協会へ提供され、印刷を協会で行っていた。去年は、秋の総会の決済によって、学連が10万円を出してトレイル用の地図をつくり、トレイルO協会からは会長決済で2万円が支払われた。今年、(トレイルO協会が)地図代を出す方向となっており、納期はミドルリレー用の地図の作成後になるということで、(トレイルO協会には)納得してもらっている。地図費用として20万円ぐらいかかるが、学連の会計には毎年迷惑がかけられないとして、今のところ、YMOE社の自己投資で地図を作り、1枚300円で買ってもらうことになっている。トレイルは世界の種目でもあるので、(インカレで)続けることに意味があると思う。

## 6. テレイン「矢板塩田」の今後について

● 矢板塩田の渉外の現状について報告がなされた。

山川 インカレミドルの対策用のテレインとしては、隣接する千葉大・東工大大会のテレインが一番なのだろうが、既存テレインの中では、同じ矢板で高原山の尾根の先端にある「矢板塩田」も、よいテレインとなる。今年3月の幹事会では、改訂作業として20万円の決済がおりている。ただ、(このテレインの地元では、)去年9月に、放射性廃棄物最終処分場建設の話が持ち上がったが、その後ゼロベースで見直しになったという経緯がある。このため、最近、渉外部長とあいさつに行ってきた。

## 7. インカレスプリントについて

● 山川・齋藤より、インカレスプリントについての過去の経緯について説明があった。最近の世界の変化に対応できるように日本学連としての立ち位置を今一度議論した。その結果、幹事会としては、インカレスプリントのデモ大会をミドルにあわせて開催したいという意見になった。

山川 2008年に第1回全日本スプリントの併設として、千葉でインカレスプリントの試行大会を開催した。2009年新潟でも同様に開催したが、幹事会の場でインカレスプリントについて議論したところ、「スプリントのためだけに遠征はできない、採算が取れない」といった否定的な意見が多く出され、時期尚早という結論になった。

齋藤 試行大会を開催して、幹事会で議論したが、「学生が集まらない」、「大会の継続性が怪しい」、「インカレの重みが軽くなる」、「インカレを増やす意味がない」として、幹事会ではいったん否決した。ただ、学生表彰は残すということで、全日本スプリントの学生の部がある。

山川 ただ、(学連は)お願いする立場である。群馬での開催時では、学生の部は設けられなかった。また、(議論をしていたとき、)私と西脇・技術委員長(当時)が(スプリントに)熱心に取り組んでいて、やり方や意義付けに関してほとんど同じ意見を持っていた。ただ、私は「インカレスプリントの開催はスプリントに力を入れていくという世界の時流があるので、参加者が集まらず赤字になっても、学連から資金を投入してでも取り組むべき課題」としたのに対し、西脇は「あくまでも採算性を考えて、みんなが出るような形を構築しよう」というスタンスだった。

去年の全日本スプリントは三重で開かれたが、学生のエントリーは50人ぐらいであった。(人数が少ない)理由のひとつに、例年は他の大会と一緒に開催されていて、参加しやすい配慮があったが、去年の場合はスプリント単独で行ったことがあると思う。締め切りを延長したり、名大・京大などへ三重県協会が直接お願いしたりしたが、参加者は大して増えなかった。ただ、今年は7人リレーと一緒に、参加者は集まると思う。

スプリントに関しては、来年から世界のフォーマットが変わる。技術委員会に入っていて、JWOCを担当している、石沢・チーフコーチからは直接相談を受けている。スプリントは早く走ったり、方向を切り替えるという問題があるが、それとは別に、ヨーロッパでは、公園ではなく市街地で行われることが多くなってきた。オリエンテーリングには、誰でも参加できるという概念があったが、スプリントに関しては、市街地で行われるようになってから完全にショーアップされたスポーツとなった。おまけに、反則が横行する大会でもあり、世界選手権では日本人選手の半分が、立ち入り禁止地帯に入って失格になったことがある。スプリントの規定は厳格であり、今年のワールドマスターズでは監視カメラが稼働するまでに至った。テレビ中継されるので、私が思うに、完全にエリートスポーツである。みんなのスポーツではない。

ヘッドコーチの感想として、スプリント特有の、市街地や城壁などの複雑な立体構造に日本人は全く対応できない。強化すると言っているが、どう対応するのか。私なりにも考えているが、みんなにも知恵を借りたい。

ショーアップされたスポーツであるからには、一般クラスをやってはいけないのではないかと。スプリントに出ることが名誉であり、きちんとモチベーションされて出場しよう、というような構造に変えないといけないと思う。私自身の勝手な思いであるので、(そのあたりについては)今後議論していきたい。一つ思いついたアイデアは、インカレトレイルで、スプリント基準の地図をつくり、参加費を無料にするかわりに、エリートには名誉をそそるような厳しい基準を適用して、デモ大会を開催してみて、スプリントの将来について提案しようというものだ。西脇との議論では、「ロングの前日(にスプリントを開催するの)はコンディションが難しいのでいやだ」という意見があったが、そんなことを言っていない世界の情勢である。組織に関わるものとして、本当にスプリントにモチベーションされる人には、そういう構造をつくり、提示をすべきではないか。将来的には、参加費収入に頼らない形で開催するのが筋であり、その代わりに強化費用の資金を使った方がよいのだが、現在JOAIにはそのようなビジョンを持ったリーダーがいらないと思うので、学連が先にやろうと思ひ、相談した。

インカレの(開催される週の)金曜日に、参加費・予選なしで男子100or80・女子60のデモ大会を開催したい。そして、スプリントの将来を考えたい。総会で議題にしても、開催を決める責任も、これを否決する責任もあると思う。デモ大会を開催してアンケートをとり、将来の方向性を出したい。

海老 私は今日技術委員会代理として出席しているが、春インカレのイベントアドバイザーを務めている。その立場から話をすると、基本的には、インカレ実行委員会ではなく、学生の要望や意見に沿ってやるべきだと思う。問題意識を持ってやりたいというのなら、実行委員会に働きかけて調整すべきだと思う。

山川 何もやらないというのは簡単だが、世界の情勢に乗り遅れていいのか。

山本 山川さんの思いはわかるが、個人的には、ミドルの前日にスプリントをやるのはどうかと思う。

山川 今回はアンケートをとるためのデモ大会として、強制力は求めない。きついのはわかっている。そのためのお金を学連から出せるのではないかと、提案している。

渡仲 私は一度全日本スプリントの学生の部に出たことがあるが、みんなが来ないと楽しくないと思った。ルールを全日本スプリントとかぶせると複雑になってしまうので、インカレのように、みんながいる場で1回試す価値はあると思う。

川上 下級生が上を目指さないとあんまり意味がないと思う。あまり経験のない人たちがあつて走りたいと思うには、その場で走っているところを見るしかない。

齋藤 モデルイベントの時間内で観戦タイムを設けて、みんながやるのなら意味があるのでは。

海老 私の立場から言えば、学生から前向きな意見があれば、検討の余地があるし、何とかしたいと思う。

山田(陽)	インカレでやるのなら、全員が参加できるような形にすべきだと思う。名誉になることやルールの全員出られないというのはわかるが、ミドルと一緒にやると、それのついでという扱いになってしまうし、インカレスプリントを個別でやるとなると、エリートだけだと人が集まらない。
山川	全員を出してしまうと、スプリント特有の厳格な規則の管理がかなり難しくなる。
山本	もし、この先インカレスプリントをやるとしたら、ミドルと一緒にやるのか。
山川	交通費の問題があるので、(他への)影響がなく、たくさん人が集まる大会と一緒に開催したい。
海老	前例がないので、開催してみて学生の皆さんがどう思うかにかかっている。
山川	あと、(インカレスプリントの提案は、「全日本スプリントは今の体制でいいのか」というJOAへの問いかけでもある。単独でスプリントをやったら、また三重のようになる。私の独善的な提案なので、もっと意見を詰めていかないといけない。
藤井	JOA強化委員会では、森の中で行うオリエンテーリングであるミドル・ロング・リレーと、町の中で行うスプリントを分けないといけないと考えている。合宿も分けて開催する方針であり、たとえ全然違うメンバーが参加するとしても、それは仕方のないことだと考えている。(その理由は。)スプリントはかなり特殊であり、そのうえ、最近のレースは、普段通れるところにゲートを設けてそこを通れなくし、コースをコントロールしている。従来のオリエンテーリングとは違うことを行おうとしていることがわかっている(ためである)。全日本スプリントに関しては今年も世界の流れとは違うところで行われそうである。世界で行っているスプリントとは違う。
山田(陽)	予選は行うのか。
山川	本来ならば予選・決勝を行うが、デモ大会ではそこまでの能力はないので、決勝一本で行う。基本的には、自己推薦してもらい、ランク付けして上から選ぶ。(ただ、スプリントの開催を)続けるのであれば、予選も行う。費用は学連から全部出すので、登録費は取るが、参加費は無料である。
山田(晋)	重大な問題がなければやっていいと思う。問題があれば、やってから(その解決策を)考えればいいと思う。
山本	スプリントをやるとしたら、その開催はいつ決めるのか。
山川	1月の幹事会で間に合うだろう。
佐藤	世界では何人規模で行っているのか。
山川	テレビ中継するくらいなので、そんなに多い人数ではない。
海老	あと、インカレ実行委員会には迷惑をかけられないので、それとは関係のないところでやりたい。運営で使う20万は交通費支給だけでなく、プロを雇って、大々的にショーアップしてやりたいと思う。
海老	私は、基本的に(インカレ実行委員会が)入らないといけないと思う。実際に春でやるのかどうか、それをいつ決めるのかは詰めてほしい。もしやるのであれば、実行委員会まで伝えてほしい。
山田(康)	面白い提案だと思うが、インカレは基本的に全員が参加するものであり、エリートだけが参加する大会にお金を出すのは問題にならないのか。
山川	今回はデモであるから、いいと思う。
山本	地図はトレイルのものとは違うのか。
山川	ISSOMに沿ったものだが、私がトレイルに提供するものを広げて、学連が作る地図としたい。
齋藤	もし(今議論中の)地図規約で考えると、これは事業の採算性で考えているし、まだ計画書がないので、正直OKといえる自信はない。ここでの議論が重要である。学生がどう考えるかによる。
佐藤	今回はとりあえずやってみて、それ以降(の開催)は学生の反応などを見て決めれば思う。面白いと思えば、続けられればいいと思う。スプリントを見たことがなかったり、わからなかったりする学生は多いと思う。
高嶋	厳格な規則で行うというが、(その監視は)どうみるのか。
山川	観客が見ている。
齋藤	世界の話をすると、人が見ているというのは、すごく大きな要素である。とても緊張すると思うので、それに慣れるということも重要である。もしやることになれば、どのように開催していくのか考えていく必要があると思う。
	→幹事会では、インカレスプリントのデモ大会を開催したい意向が示された。開催する場合、次回幹事会(来年1月)で地図代20万円の決済をすることとなった。
	途中休憩: 18時15分~18時25分 (18時15分杉村・途中出席、18時17分藤井・途中退席)
	<b>8.春インカレについての報告</b>
	●春インカレ実行委員会からの報告について確認をした。
山本	資料確認 2013年度春インカレ実行委員会の寺岡・実行委員長より、報告があった。 内容は、選手権クラスのコース距離についてと、地図置き場についてのものである。(資料参照) これらは実行委員会の裁量に任されているところなので、報告のみとなる。
	<b>9.2012年度春インカレ報告書における将来への提言、イベントアドバイザー報告の今後の検討課題についてのフィードバック</b>
	●山本より、2012年春インカレ報告書における将来の提言について、議論した。
	資料確認 ※インカレ実施規則については日本学連ホームページを参照 (18時43分平野(弘)出席)
新谷	1.【一般クラスリレーの地図事前配布について】 資料1枚目の最終行に「地図監視用の役員が不要になること」とあるが、この意味がよくわからない。事前配布すると、地図を不正に見ることが容易になるため、むしろ監視用の役員を会場中に配置しなければならないのではないのか。
海老	インカレ実行委員会の中でも、去年の報告書にある提言についてどうすべきか、今議論していて、ここで挙がっている項目についても話し合っている。幹事会を含めて、学生側から提言があれば、基本的にはそれを最大限尊重したい。

	これに関していうと、(インカレ実行委員会では)一般クラスも含めて地図置き場をつくるべきだという議論になっている。その理由は地図の事前配布のリスクがものすごく大きいことであり、そのための規則であると考えているからだ。イベントアドバイザーとしての立場でもそのように言っている。昨年度は場所的に地図置き場が設置できなかったから、地図が事前配布された。そもそも地図の事前配布は世界選手権では行われていないことであり、リスクがあまりにも大きい。
山本 杉村 山本 山田(康)	確かに地図を事前配布すると、それを見てしまう人が出てくるかもしれない。会場中に役員を配置するのは難しい。 私は、一般クラスに出場したが、個人的には特に問題はなかったと思う。その年の制約に合わせればいいと思う。 今は選手権クラスの事前配布の制限をはずすかどうかの話をしたい。
山田(晋)	地図を事前配布することのメリットと公平性を保つメリットを比べたら、公平性のほうが上に来ると思う。特に選手権の部で、万が一見てしまったら、公平性は大きく崩れるので、ルールを変える必要はないと思う。
山本 海老	一般クラスの地図を見ても十分な情報になるので、(事前配布については)選手クラスに限らず議論すべきだと思う。基本的には事前配布をしないという前提にして、昨年度のようにどうしてもできない場合は致し方ないという形がいいと思う。 いま、インカレ実施規則には併設クラスについて決めている規則がほとんどない。 基本的には選手権クラスに付随する形として、その規則をベースにしている、一般クラスの規則はほとんどない状況である。選手権クラスと一般クラスは別物である。規則はイベントアドバイザーと理事会の承認があれば変更できる。 →事前配布の制限をはずす必要はないという方針となった。
山本	2.【インカレ実施規則の見直し】 インカレ実施規則25.5では、スタート前の競技者とオフィシャル以外はウォーミングアップエリアに立ち入れないことになっているが、前回のよう、それが会場と兼ねている場合でも、この規則が適合するようにしたい。(具体的には、)「スタート前の競技者とオフィシャル以外は・・・」という記述の前に、「ウォーミングアップエリアが会場から離れている場合は、」と付け加えたい。 →特に異論が出なかったため、この部分については、次回総会で提案することになった。
山本 海老	次に、携帯電話に関して議論したい。(資料参照) 木村理事によれば、秋インカレ2011の要項3にそれについての記述がないのは、携帯電話を禁止するのは無理だし、禁止するつもりがなかったからだという事だ。秋インカレで無理なら春インカレでも無理な気がする。 秋インカレは基本的に1日だけのイベントだが、春インカレはモデルイベントを合わせると3日間あり、宿泊やバスなども実行委員会でコントロールしたり、ミドルで使ったテレインでリレーを行っていたりするからだと思う。あと、ミドルの場合だと、以前は予選と決勝を行っていたのだが、決勝の待機所についての情報が漏らさないためである。ただ、禁止はできないというのは確かだと思う。(携帯電話の使用禁止について)規約には書かれていない。
山本 山本 渡仲 山田(晋) 山田(康) 新谷	この要項の記述は携帯電話の普及が進んでいなかった頃、運営の障害になるとしてインカレ実行委員会の決定の名残である。 規則として禁止する必要は、ないのではないかと思う。 規則をつくるとそれが基準となるので、今のままでよいと思う。 実行委員会がその都度判断しなく、僕らで決めることはないのでは。 携帯電話の使用禁止は実際に守られているのか。 わからない。ただ、この規則は応援する人にも適用される。 →携帯電話の使用については、規則では禁止しない方向となった。
山本	3.【継続的なインカレの開催に向けて】 資料参照 何か意見はあるか。 →特に意見がなかったため、山本が今度の総会で触れることになった。
山本 山本 海老	4.【リレー一般の部の1走スタート】 資料参照 10年ぐらい前は、北から並ぶことと南から並ぶことを交互に繰り返していた。 今回のインカレ実行委員会でもこれについて議論されていて、できれば個々に問い合わせをもらうより、ある程度学連で意見を取りまとめていただくとうありがたい。
山本 新谷 齋藤 海老	アンケートを実施するならば、メリスを流して各校1票にしようか。 意見をまとめなくとも、いろいろ出せばいいと思う。 地域的な学校の数の偏りがあるので、意見をまとめて実行委員会に渡すことが限界だと思う。 全部を公平にというのは難しいと思う。 →事業部長が意見をまとめて実行委員会に結果を渡すこととなった。
山本 齋藤 山田(陽)	5.【インフォメーションデスクでの資料配布について】 資料参照 インフォメーションデスク自体は残して、配布をしないという案である。 全員がスマートフォンを持っているという保障はない(ので、廃止するのはまずい)。 去年のロングのとき、ラップが出るとみんなが見ようとして、動作が重くなってLap Centerの閲覧がしにくかった。それが解消されれば、廃止していいと思う。
齋藤 海老 齋藤 齋藤	ミドルのラップを配る意味は何なのか。 どこにも制限がなく、今までやっていたからである。パソコンでしか記録がみられなかった頃の発想なのだと思う。(Lap Centerについては)アクセスが集中しないように努力をしなければならない。正直なところ、できたらやめたい。 先ほどのアンケートの際に意見を求めて、残してほしいという合理的な意見があれば、そうしなければいけないと思う。 こういったことは学生の意見を全部集めて情報提供することに意味があるので、ぜひ積極的にやってほしい。私が日本学連事業部長・幹事長のときは(インカレの)宿についてアンケートをとって日本旅行に情報提供するなどしていた。 →アンケートのときにインフォメーションデスクでの資料配布について意見も聞くこととなった。

## 10.技術委員会報告

<p>山本 海老 齋藤 山川 海老 山本 齋藤 海老</p>	<p>●海老より、技術委員会の活動報告がなされた。また、インカレ実施規則第34条については、第2項の文言を「イベント・アドバイザーは技術委員会が推薦し理事会が承認する」という形に改正し、第7項を削除する方向で意見がまとまった。</p> <p>資料確認 第34条1には「イベント・アドバイザーは日本学連を公式に代表し、主管者に対して派遣される」とある。日本学連の外から派遣するとイベント・アドバイザーの趣旨と違う。 現実はその(資料の文章の)ようになっていて、後追いで技術委員会を代表する形となり、理事会で承認されている。第1項のように、学連を代表して実行委員会と話をするならば、何らかの形で学連から承認を取る必要がある。 学連の中から出す必要はないのでは。 それを変えると大変だから、現状是認でいいのではないのか。 現状はそうなっていて、技術委員会の仕事はあまりしたくないが、イベント・アドバイザーならやってもいいという人に仕事をふっている。基本的には、イベント・アドバイザーの承認は規約で決められており、それ以上の不適合事項がある場合は理事会にあげないといけないことになっている。 イベント・アドバイザーで決めることはないのか。 規約では、イベント・アドバイザーは理事会が指名することになっているが、実態とあっていない。ここを変えるのなら、シード選手(の決定のプロセス)と同じように、技術委員会が推薦し理事会が承認する形にすれば、(イベント・アドバイザーにふさわしい人物かどうか)ダブルチェックが入る。 第7項では「イベント・アドバイザーとイベント・アドバイザー補佐に関わる経費は、主催者が直接に支出する。」とある。ロングの場合は共催のパターンが多い。基本的に「主催者」という文言がよくない。日本学連が支出するなどしないといけないと思う。 →イベント・アドバイザーの選出については、技術委員会が推薦し理事会が承認するという、ダブルチェックの形をとれば、技術委員会外部から選出しても問題ないという意見となった。また、第7項については削除すべきという意見となった。</p>
<p>齋藤</p>	<p><b>11.理事会報告</b></p> <p>●インカレロングに関する最近の決定について報告があった。</p> <p>技術委員会から報告があったように、インカレロングのイベント・アドバイザーは田濃邦彦氏が就任することが承認された。また、インカレロングのシード選手は選考中である。(※注) ※今回の幹事会終了後である9月16日、インカレロングのシード選手が発表された。(詳細は日本学連ホームページを参照)</p>
<p>山田(陽) 平野(大) 高橋 山田(晋) 杉村 平野(弘)</p>	<p><b>12.各部局活動報告</b></p> <p>●会計：加盟費・インカレ事業費の受け取り ●事業部：幹事会のとりまとめ ●広報部：第1回幹事会議事録の発表、いぶきの発行 ●事務局：加盟登録の受付、地図購入の受付、賛助会員の募集 ●普及部：賛助会員の募集(東大大会・東北大大会) ●渉外部：矢板・所野のあいさつ回り</p>
<p>山田(康) 高嶋 佐藤 川上 宇井 山川</p>	<p><b>13.各地区学連活動報告</b></p> <p>●北東学連：夏合宿(8月17日～20日、合宿中に機関紙発行・北東インカレ・学連総会をそれぞれ開催)、第7回岩県大会(9月8日)、第36回東北大大会(9月15日)、第35回北海道大学大会(9月29日) ●北信越学連：学連総会(第2回：7月13日、第3回：8月25日)、学連合宿(8月24日～26日)、新潟大学大会(9月29日) ●関東学連：関東学連規約改正(日本学連総会での承認で実際に改正される)※資料参照 ●東海学連：東海インカレ(6月30日)、学連合宿(8月31日～9月1日)、学連総会兼幹事会(8月31日) ●関西学連：ロングセレ(6月16日)、学連総会(6月16日)、京大京女大会(9月7日8日)、定例戦(10月27日・予定)</p> <p>→関東学連規約改正については、表現の不備などの指摘を受けた部分を修正し、総会に出すことになった。 日光愛宕山のことだが、今年も同じように考えたい。大学大会をやりたいところは手を挙げてほしい。なお、旧マップなので幹事会で決済できる。 あと、来年のロングを10月12日福井県で行う方向で仮押さえをした。</p>
<p>山本 山本</p>	<p><b>14.次回総会・幹事会について</b></p> <p>&lt;次回総会&gt; ●開催日：10月12日(土)(インカレロング前日) ●開催地：静岡県(会場は未定)</p> <p>&lt;次回幹事会&gt; ●開催日：1月18日(土)(ジュニアチャンピオン大会前日) ●開催地：関東地方(予定)</p>
	<p>幹事会終了:20時13分</p>